

「愛媛小児吸入指導インストラクター制度」について

小児の呼吸器疾患診療に吸入療法は不可欠であり、その効果は吸入が上手にできているかどうかが決め手になりますが、吸入手技の取得は困難で具体的かつ細かい指導が必要です。しかし、日々の診療のなかで、患者や家族に吸入方法を指導することは時間的にも困難です。このため、薬局で薬剤を受け取る際に適切な吸入手技の指導が受けられるよう、全県的な吸入指導システムの構築を発案し、愛媛小児吸入療法研究会が認定母体となって、愛媛県薬剤師会との協力のもと「愛媛小児吸入指導インストラクター制度」がH25年に発足しました。



具体的には左の図のようなわゆる屋根瓦式の指導システムです。

患者を指導する吸入インストラクター、その指導にあたる吸入インストラクター・トレーナー(略称:吸入トレーナー)、そのトレーナーの活動を各地区でまとめるエリア・マネージャーからなり、吸入インストラクター・吸入トレーナーともに講習会と試験により認定されます。

H25年の発足時以後、中心となって活動してきた11名の吸入トレーナーに加え、H28

年度の認定試験により新たに20名、さらにH29年度3名が選出され総計34名となっています。

H27年度以前の吸入トレーナーはエリア・マネージャーとなり、各地区の担当医師とともに今後の認定講習会や認定試験の詳細を決定しています。H29年度はインストラクターの認定試験が行われ、17名のインストラクターが認定されました。今後、インストラクターの認定講習会・認定試験は県下5地区(宇和島地区・八幡浜/大洲地区・松山地区・今治地区・新居浜西条四国中央地区)で年1回行われ、インストラクターが増員されていく予定です。(現時点の認定トレーナー・インストラクターネーム・薬局名は別紙の認定者名簿をご参照ください。)



左図のような認定とピンバッジが贈呈されています。

インストラクター・トレーナー(トレーナー)はオレンジのバッジ、エリアマネージャーはブルーのバッジ、インストラクターは白いバッジの装着が許可されます。

ジャードバッジは新居浜市を中心とした医療機関で販売されています。

(制度既定の詳細は別紙をご参照ください)

医師との連携やフィードバックシステムも新居浜市を中心に整備されつつあります。

小児に特化した全県的指導システムは他に例をみないものであり、今後も継続的に発展させていきたいと考えています。

H29年10月吉日

愛媛県小児吸入療法研究会